

平群

Heguri

≡ 議会だより 5月臨時会

No.246

平成26年6月1日

発行:奈良県平群町議会

第2回臨時会(5月)

就任のあいさつ

議長 奥田幸男 副議長 森田 勝 2

議会の構成／議決結果 3

あすのす平群紹介／町の話 4



れんげ畑で遊んだよ (おでかけ広場トントントン 子育て支援センター主催)

就任あいさつ

平成26年第2回臨時会が5月8日開催され、議会の役員及び各委員会の選任がおこなわれました。
議長には奥田幸男議員が、副議長には森田勝議員がそれぞれ選挙で選ばれました。
(議会構成、投票結果は別項)

信頼と期待に応えられる 議会運営を

若葉青葉の緑もすっかり色濃くなつてまいりましたが、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

去る5月8日の臨時会において、議長という大任を拝命いたしました。身に余る光栄に存じますとともに、その責任の重大さに身の引き締まる思いでございます。

さて、二元代表制の翼を担う町議会の果たす役割と責任は、ますます重要になってきております。町議会では、議会基本条例を制定し、開かれた議会、改革を推進する議会の実



議長
奥田 幸男

現に向け取り組んでおり、更に議会の公開性と透明性の向上に努め、「見える議会」を推進してまいりたいと存じます。

また、町は、人口減少、超高齢社会を迎えており、未来を担う子供たちの健全な育成や少子化対策、高齢者などに対する医療・福祉対策、防災対策など山積する諸問題の解決に取り組んでいかなければなりません。

町議会といたしましても、これらの課題により一層の創意工夫と努力を積み重ね、町のさらなる発展のために全力を尽くしてまいりたいと考えております。

住民の皆様の信頼と期待に応えられる議会運営を目指して万全を期してまいる所存でありますので、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。

他自治体より優位性のある町づくりを

平群の山々の木々の若葉が美しい季節、皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

去る5月8日の臨時会におきまして、昨年度に引き続き副議長に就任させていただきました。身に余る光栄で、その責任の重さを痛感しております。

奥田議長のもと、議会に求められている「市政のチェック機能」、「民意の反映」を図るとともに、平群町議会基本条例に基づく議会運営に努め、議員各位の協力を得まして「わかりやすい議会」、「議論する議会」、「政策提言する議会」を目指して、精勤恪勤する覚悟であります。

さて、町は住民の転出者の増加、転入者の減少による人口減少にはどめがかからず、厳しい状況にありますので、他自治体より優位性が高く、魅力ある制度や仕組みにより、若い子育て世代の定住を図り、転出者を少なくする施策が重要であると考えております。

そのために、平群町のため住民のため知恵と汗を出して、全力で取り組んで参る所存であります。

どうか、一生懸命頑張りますので、住民の皆様のご理解とご指導を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。



副議長
森田 勝

議会の構成

議 長 奥 田 幸 男				副 議 長 森 田 勝			
名 称		委 員 長	副 委 員 長	委 員			
常任委員会	総務建設委員会	下 中 一 郎	植田 いずみ	森 田 勝	窪 和 子	山 田 仁 樹	馬 本 隆 夫
	文教厚生委員会	山 口 昌 亮	戎 井 政 弘	井 戸 太 郎	奥 田 幸 男	高 幣 幸 生	繁 田 智 子
特別委員会	下水道事業 特別委員会	井 戸 太 郎	下 中 一 郎	奥 田 幸 男	森 田 勝	山 口 昌 亮	山 田 仁 樹
	駅周辺整備事業 特別委員会	繁 田 智 子	高 幣 幸 生	奥 田 幸 男	森 田 勝	植田 いずみ	馬 本 隆 夫
	財政検討 特別委員会	窪 和 子	馬 本 隆 夫	戎 井 政 弘	奥 田 幸 男	植田 いずみ	高 幣 幸 生
	議会改革 特別委員会	高 幣 幸 生	山 口 昌 亮	井 戸 太 郎	戎 井 政 弘	山 田 仁 樹	下 中 一 郎
	公共交通対策 特別委員会	植田 いずみ	窪 和 子	戎 井 政 弘	森 田 勝	繁 田 智 子	馬 本 隆 夫
議 会 運 営 委 員 会		山 田 仁 樹	繁 田 智 子	井 戸 太 郎	山 口 昌 亮	窪 和 子	下 中 一 郎
議会だより編集委員会		山 田 仁 樹	繁 田 智 子	井 戸 太 郎	山 口 昌 亮	窪 和 子	下 中 一 郎

成 立 し た 議 案

専決処分の承認を求めることについて (平成25年度平群町一般会計補正予算(第5号)について)

「ふるさと納税」の寄付金1000万円を、ふるさと基金積立金として増額するとともに、年度内完了が見込めない事業の繰越明許費の補正を追加するもの。

専決処分の承認を求めることについて (平成26年度平群町一般会計補正予算(第1号)について)

消費税増税による低所得者対策として、国が実施する臨時福祉給付金と子育て世帯臨時特例給付金を支給するための予算措置。

平群町では、対象者を臨時福祉給付金3400人(うち加算分1700人)、子育て世帯臨時特例給付金1100人と見込んで、給付金5350万円とそれに伴う事務経費1363万9千円を計上しています。

議長選挙投票結果				副議長選挙投票結果			
当選	得票が同数のためくじ引き	有効投票	投票総数	当選	得票が同数のためくじ引き	有効投票	投票総数
奥田 幸男	6 票	12 票	12 票	森田 勝	6 票	12 票	12 票
下中 一郎	6 票			高幣 幸生	6 票		

議決結果賛否一覧 ○賛成 ●反対 (議長は、可否同数のとき議案の可否を決定します)

提出区分	議 案 件 名	議決結果	井戸太郎	戎井政弘	奥田幸男	森田勝	植田いずみ	山口昌亮	高幣幸生	窪和子	山田仁樹	繁田智子	馬本隆夫	下中一郎
町長提出議案	専決処分の承認を求めることについて (平成25年度平群町一般会計補正予算(第5号)について)	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	加議 長は 採決 に ま わ り ま せ ん
	専決処分の承認を求めることについて (平成26年度平群町一般会計補正予算(第1号)について)	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

紹介

読書貯金通帳で心の貯金をしよう！

平群町子ども読書活動推進の取組みより

あすのす平群では、子どもたちに読書に親しんでもらうため、昨年の「子どもの読書週間4/23～5/12」に、図書館や町内の小中学校から、読書貯金通帳を配りました。

この貯金通帳には、学校や図書館で借りた本の題名

と日付を書き、星印に色をぬります。通帳が25冊いっぱいになったら、図書館で新しい通帳をもらい2冊目に挑戦します。

そして、今年の「子どもの読書週間」には、年間貯めた通帳を持ってきてくれた子どもたちからベストリー

ダー6名(写真)を発表しました。

子どもたちの貯金通帳に書かれた冊二冊には、本との素敵な出会いが垣間見え、微笑ましく、エントリーしてくれた全員に、図書館員がメッセージを添えました。

来年は、さらに多くの子どもたちがチャレンジし、読書好きになってくれるといいなあと思っています。

平群町立図書館(あすのす平群) 館長 西村 君江



後列:三輪ひとみさん・表利紗羅さん・植島百咲さん
前列:表利瑞希さん・下中一喜さん・奥田悠斗さん

編集後記

臨時会が開催され、編集委員に変更がありました。

これからも、議会の流れや活動がよくわかる、住民の方々によりわかりやすい役立つ紙面になるよう努力していきます。

より開かれた議会を目指し、住民の声が反映される町づくりを目指していきたいと思っています。

そのためにも、議会に対するご意見や感想をメール等でお寄せいただけたら幸いです。

山田 記

町の話 題



仲間と新しい歴史を

4月25日、平群小学校で開校式が開催されました。

式典では、議会を代表して下中議長(当時)が、「明治より、百四十年余りの歴史と伝統を引き継いだ平群西小学校と平群東小学校が統合し、新しく『平群小学校』となりました。

両校の開校式で、小学校が、地域の教育・文化の中心であるばかりでなく、地域の皆様方の心のよりどころであったということが、強く心に残っています。

開校式での寂しさを乗り越えて、新しい仲間と共に新しい先生方に導かれ、この『平群小学校』で多くの友達との出会いが始まります。どうか、積極的に話しかけ、仲間づくりに励み、今まで以上に楽しい学校生活になるようみんなで頑張ってください。」とあいさつしました。

児童代表の6年生は、「『早くあしたになって学校に行きたいな』と思えるような学校にしたい。そのためにみんな仲良く、思いやりの気持ちを忘れず、協力し合っていきたい」と思いを力強く語りました。

最後に全児童による新しい校歌「至誠」の斉唱では、子どもたちの元気な大きな声に未来への希望と力強さを感じました。

これから新たに素晴らしい歴史と伝統を築いていくことができるでしょう。

山田 記



奥田新議長と新編集委員会のメンバー